
Red devil

G r i v e

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Red devil

【Nコード】

N8277B

【作者名】

Grive

【あらすじ】

ヴァンパイアvsデビルの現実世界と異界での戦い。”何か”に終われる女性。あやしい少年。全ての始まり。

File 0：プロローグ

「はあっ…はあ………はあ」

若い女性が何かから逃げるように暗い人目につかない裏路地へ息を切らし、駆け込んだ。

「ここなら大丈夫……のはず」

その女性が呟く。

女性は周りに注意を払いながら裏路地の奥の方へと歩いて進む。

ガサツ

数10Mすすんだあたりで女性の後ろで何か音がした。

声がでない。今までにないような恐怖感に煽られながらも、その女性は立ち止まりゆっくり振り向く。

何もいない……。。

何もない……。。

何も存在しない……。。

その女性は、そう自分に言い聞かせながらまた裏路地の奥の方へと足を進める。

「次が右でまた右………」

女性は呟き、辺りを見回しながら歩いている。

「ッ…!？」

女性は自分の後ろに何かがいるのを感じとった。

女性は深く息を付き自分に”大丈夫”だと言い聞かせ、先程と同じように

ゆっくり後ろに目をやる。

「えっ…………子供？」

女性の後ろには半袖半ズボンの身長130程の小さな少年がいた。

「何してるのかな？」

女性は恐怖感を抑えて少年に話し掛ける。

「……………」

少年はうつむいたまま黙りただ立っている。

「お家はどこなの？」

女性は聞いた。

すると少年はいきなり女性に抱き着き、顔を上げ女性と目をあわせた。

「……だよ」

「えっ？」

少年の声が小さく聞き取れないため女性は聞きかえした。
少年は女性をさらに強く抱きしめ言った。

「ここだよ」

女性は一瞬とまどったが
すぐに恐怖感に煽られ少年を振り払おうとした。
しかし少年の手は一行に女性の体から離れない。

「はなして！」

叫ぶがもはや女性の言葉は何の意味も持たない。
女性は必死に振りほどこうとするが相変わらず少年は離れない。

「はなして！やめて！」

「ここだよ」

「おねがいだからはなして」

「ここだよ」

「ここだよ」

「ここだよ」

少年の声は徐々にモザイクがかかったような声になっていく。

「ここだよ」

「ここだよ」

「ひいひいひい！」

「ここだよ」

「ここだよ」

「ココだよ」

「…ここだよ」

「ツカマエタヨ、ツカマエタヨ、ツカマエタヨ。」

少年のその言葉とともに狭い裏路地を埋め尽くす程の数の人間に似た”何か”が女性と少年を包み始めた。

「やめて！私は行きたくない！」

女性は叫ぶ。

「イツシヨニイコウ」

少年は笑った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8277b/>

Red devil

2010年10月9日21時26分発行